



タイヤがパンクした・・・ 急な事態のために知っておきましょう

● 応急修理キットは一時的な応急用です。一度使用すると タイヤ自体の交換が必要となる可能性があります。

応急修理キットでは補修できない種類のパンクがあります。また、応急修理キットで補修したタイヤは、走行速度や走行距離に制限があり、整備工場などでの正式なパンク修理では費用が余計にかかる可能性があります。

● 事前に応急修理の装備や作業方法を確認しましょう。

応急修理の装備の確認はもちろん、定期的に装備を点検する必要もあります。作業方法や注意事項などを取扱説明書で事前に確認しましょう。また、急な事態に備えて、取扱説明書は車両に積んでおきましょう。

● 重大な事故につながる危険性 があります。ジャッキアップ 作業時は気をつけましょう。

ジャッキアップ作業が必要な場合は、地面が固く、平らで安全に作業ができる場所に車両を移動しましょう。車両の取扱説明書に沿って、安全に作業をしましょう。



● 初期対応として、日本自動車連盟（JAF）などの ロードサービスの活用なども有効な方法の一つです。



本内容の詳細は、独立行政法人
国民生活センター公式サイトに
掲載しています。
<http://www.kokusen.go.jp/>

くらしの危険

最新号やバックナンバーは
こちらからご覧いただけます。

公式サイト「くらしの危険」コーナー
<http://www.kokusen.go.jp/kiken/index.html>



●「くらしの危険」は、全国の消費生活センター、医療機関等から収集した情報をもとに、被害や事故の未然防止・拡大防止のために作られています。●特定の商品・サービス等を推奨するものではありません。●商品やサービス、設備によって起きた事故の情報を最寄りの消費生活センターにお寄せください。●無断転載はお断りいたします。

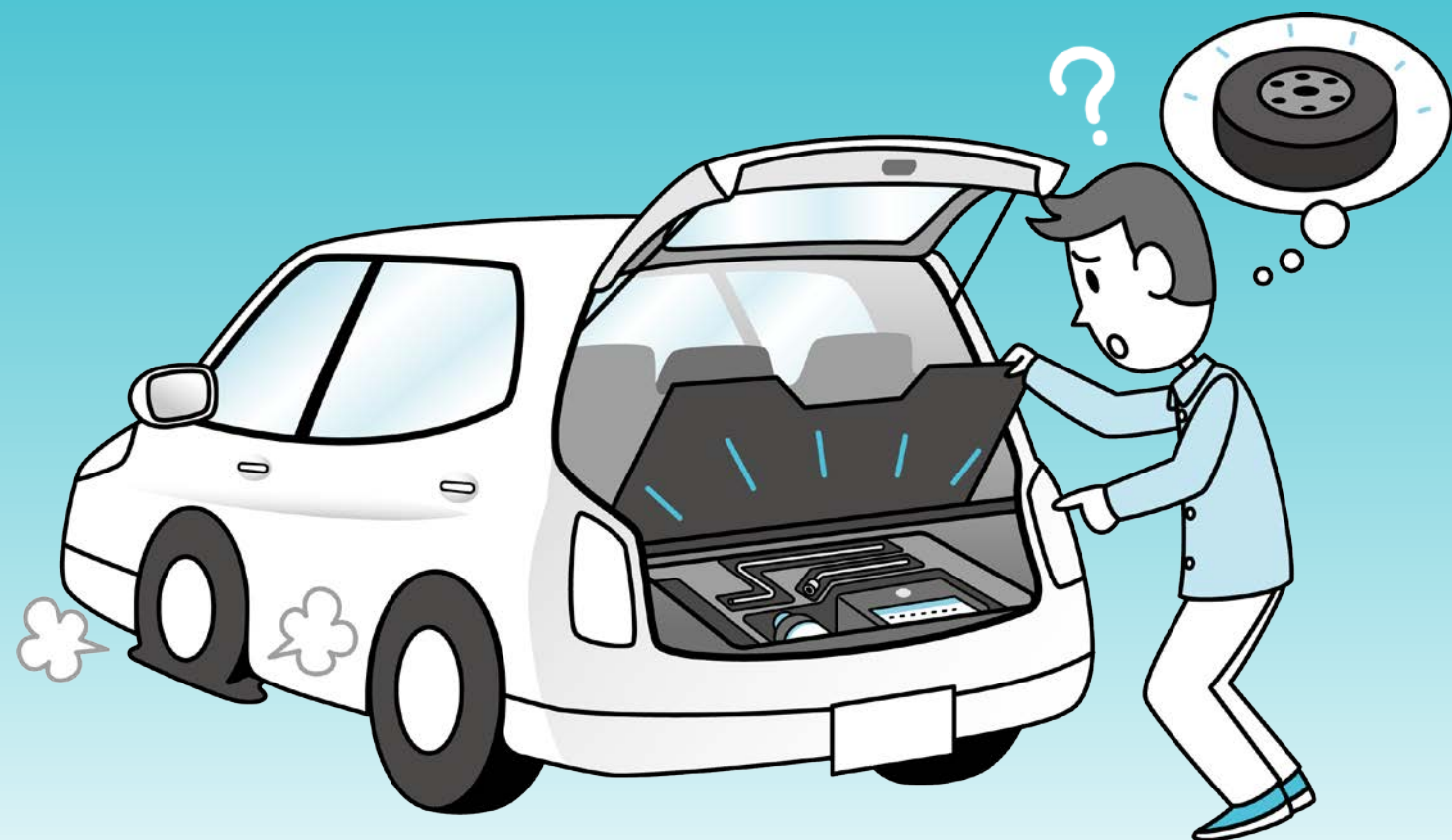


独立行政法人
国民生活センター

〒252-0229 神奈川県相模原市中央区弥栄3-1-1 TEL: 042-758-3165 ● 2019年 3月発行
イラスト: 川崎 敏郎

くらしの危険 Number 348

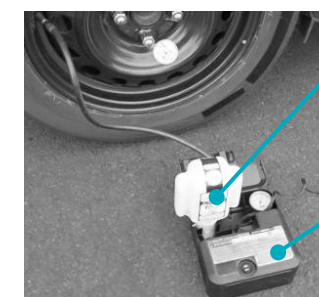
自動車タイヤパンク発生時の対応 -応急修理キットやスペアタイヤについて-



車両には、タイヤがパンクしたときに自分で応急修理するための装備が積んであります。応急修理には主に、スペアタイヤに交換する方法のほか、応急タイプのパンク修理キット（以下、応急修理キット）を使う方法があります。急な事態に備えて、所有している車両の応急修理の装備やその作業方法を事前に確認しておきましょう。

● 応急修理キットとは？

タイヤに釘やネジが刺さった軽度のパンクを応急修理して、整備工場までの移動を可能にするものです。その後できるだけ早く、正式なパンク修理やタイヤ交換などの確実な修理が必要です。



修理剤ボトル

タイヤからの空気の漏れを少なくする

電動コンプレッサー

車両のアクセサリースOCKETを利用して空気圧を調整する



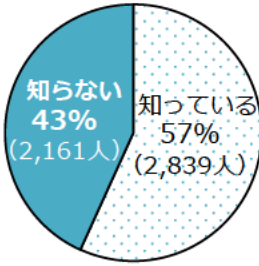
消費者アンケートを行いました

●方法：インターネット ●対象人数：5,000人
●対象：車両（平均使用年数：8年）を所有する20～60歳代の男女



所有する車両の装備内容

約4割以上の方が
知らない と回答

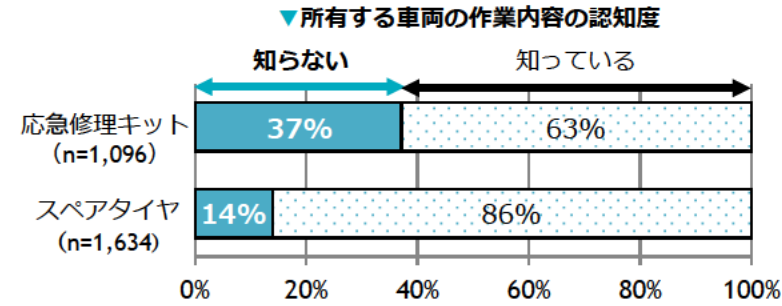


所有する車両の
装備内容の認知度
(n=5,000)

所有車両の応急修理キットやスペアタイヤの作業方法

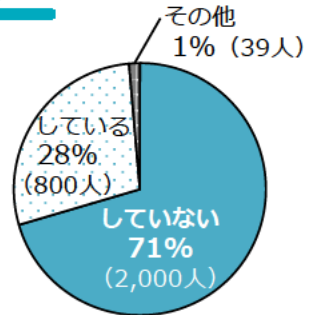
応急修理キット所有と把握している
4割弱の人が知らない と回答

応急修理キットとスペアタイヤの作業方法の
認知度に差がありました



応急修理キットや スペアタイヤの点検

所有装備を把握している
約7割以上の方が
していない と回答



緊急対応時装備の
点検 について
(n=2,839)

こんな点検
していますか？



こんな相談が寄せられています

全国の消費生活センターなどには、**応急修理キットやスペアタイヤに関する相談が、2013～2018年度の間で40件**寄せられています。(2018年11月末までの登録分)

ケース 1

購入後にスペアタイヤがないことに気が付いた。スペアタイヤが付属していない旨の説明はなかった。田舎道や高速道路でパンクした場合、スペアタイヤがないと困るし、危険だ。

(受付年月：2016年7月、岡山県、70歳代・男性)

ケース 2

自動車のタイヤがパンクして付属の応急修理キットでパンク修理をしたところ、それが原因でディーラーに修理を断られた。

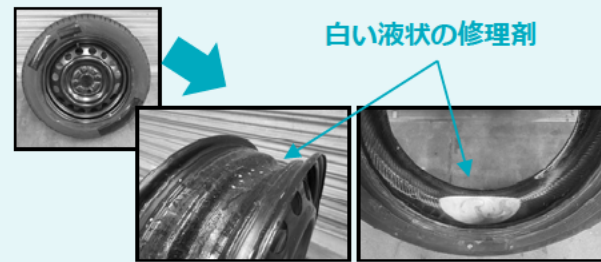
(受付年月：2018年10月、大阪府、40歳代・男性)



応急修理キットの使用法に関する留意点

●補修後のタイヤの内部

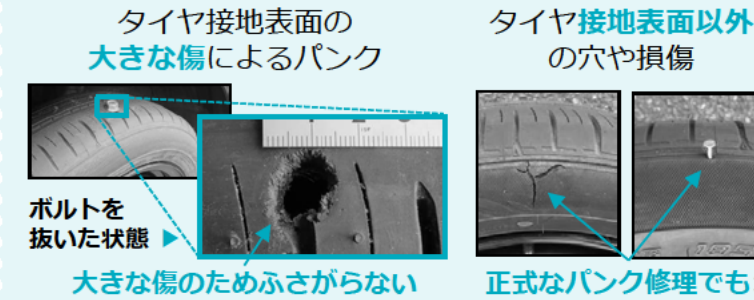
補修後のタイヤとホイールの間には修理剤が**液体の状態**で付着していました。



▲ 補修後のホイールとタイヤ

⚠️ 洗浄などが必要のため、正式なパンク修理で余計に費用がかかる可能性があります！

●補修不可能な傷や損傷



⚠️ 他にこのような**補修不可能な状態**があります

- 2本以上のタイヤのパンク
- 1本のタイヤの2カ所以上の損傷
- ホイールが損傷している
- ホイールのエアバルブやバルブコアが損傷している
- タイヤがホイールから外れている

スペアタイヤの交換方法に関する留意点

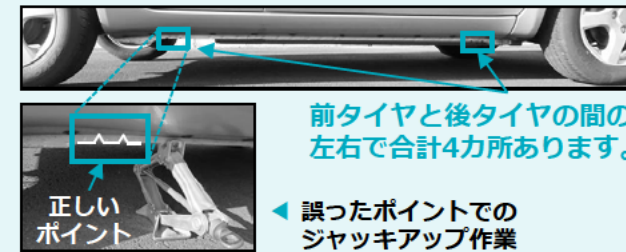
●スペアタイヤ(応急用)の取り付け位置

1. 車両の駆動方式や状況に応じて注意事項があります
2. スペアタイヤ(応急用)にはタイヤチェーンを取り付けられません
たとえばタイヤチェーンを付けた後輪がパンクした場合の交換方法は？
前輪をスペアタイヤに交換し、外した前輪をパンクした後輪と交換したうえでタイヤチェーンを取り付けます。

⚠️ 車両に付属している取扱説明書の注意事項や方法に従った作業が必要です。

●ジャッキアップ作業の危険性

1. ジャッキアップポイントを守りましょう



2. 不安定な場所での作業はやめましょう

⚠️ このような**場所**は危険です
●傾斜がついた路面 ●うねりのある路面 など

応急修理キット点検ポイント

一般的にラゲッジルームの床下や側面に収納されています。

修理剤の有効期限は切れていませんか？



修理剤の有効期限表示

スペアタイヤ点検ポイント

一般的にラゲッジルームの床下に収納されています。

指定された空気圧が充填されていますか？

指定空気圧の確認作業



タイヤ溝の残量はありますか？

スリップサインを目印に残り溝の残量を確認！

タイヤは劣化していませんか？



スリップサイン